



碧南ロータリークラブ週報

第2800回例会 平成28年10月26日(水)

- 会長 榊原 健
- 幹事 新美 惣英
- 会場監督(SAA) 黒田 泰弘

2016-2017 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



- 会報委員 杉浦秀延・貝田隆彦・梶川光宏

●齊 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

●本日のお弁当

衣浦グランドホテル

●本日のお客様

語りべふみの会 代表 田中ふみえ様、アシスタント 中村かつら様

会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。先週1週間、職業奉仕活動ご苦労様でございました。先週は移動例会ということで、水上スポーツセンターで行わせて頂きました。その後、ペアボートに14名の方に乗って頂きましたけれども、初めての体験で凄かったです。通常、ボートは水をかき分けて走るものだと思っていたのですけ



榊原 健会長

ども、空を飛んでいて時々バタンバタンと落ちるような感じで、その衝撃は凄いものでありました。次の日、しっかり握っていたために両腕が凄く張って痛かったです。

先週のクイズで浅田真央選手がシニアの世界でスケートをするようになってから何勝したかという問題を出しました。答えを言う前に彼女の代名詞と言いますと、やっぱりトリプルアクセル、3回転半を跳ぶということなのだそうですけれども、トリプルアクセルをずっと跳ぶ、それが浅田真央だということで彼女は非常にそれに固執したのではないかと思います。ずっとトリプルアクセルを成功しては失敗し、失敗しては成功し、を繰り返しております。非常に難しい技なのだろうと思います。トリプルアクセルを最初に跳んだのは伊藤みどりさんだったのですけれども、彼女はジャンプ力が凄くて跳べたのだと思っております。浅田真央選手は2005年のグランプリに15歳で初出場し、トリプルアクセルを成功させて優勝しました。

2006年のトリノのオリンピックでは、スケート連盟の年齢規定に87日足りないということで出場することができませんでした。2010年のバンクーバーでは、キム・ヨナ選手に負けて2位でした。その後の2014年では、ショートプログラムで何回もジャンプで転んでしまって、屈辱的な16位というスタートを切ってしまって、世界中の誰もが浅田真央選手は終わったと思ったそうです。ですがフリーでは全てのジャンプを成功させて2位の得点を出しまして、総合で6位になりました。その衝撃は凄く、世界中のスケーターの間で広がりました。このオリンピックが終わった後、記者団から「これから競技人生を続けるのか」という質問に対して、ハーフハーフと答えました。そして1年間の休養を経て見事に復活しましたがけれども、練習不足は否めなく今回は6位に終わってしまいました。でも彼女が何回失敗しても許せるというのが日本人にはあるのではないかと思います。私も早くあいつなら許せると言われてみたいなと思っております。

そこで前回の答えです。51大会に出場し、26回優勝しております。これは凄いことです。

それでは今週のクイズです。ロータリーには3つの義務があります。その3つは何でしょうか。

本日もどうぞよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 例会変更は幹事報告書の通りでございます。
- ・ ロータリーレートは先月に引き続きまして102円で扱うということで事務局より連絡がございました。
- ・ 本日の例会終了後に第2回の次年度役員指名委員会を開催致します。よろしくお願い申し上げます。
- ・ 次週は11月になります。クールビズは本日の例会で終了とさせていただきますので、次週からはネクタイの着用をお願い申し上げます。
- ・ 次週の例会終了後に第5回の理事会を開催させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。



新美惣英幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 69名 (内出席免除者 18名の内出席者 11名)出席者 50名	
出席対象者 50/62名	出席率 80.65%
欠席者 19名(病欠者 0名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 新美 孝君 本日の講師、語りべふみの会 代表 田中ふみえ先生のご来訪を歓迎申し上げます。
- 伊藤 正幸君 職場例会にて風も震えるボートレーサーの体験させていただきました。同乗の4748番ワタナベタケオ選手、これから応援しますよ。
- 奥田 雪雄君 棚尾の村まつりでも、大変お世話になっております。ありがとうございます。棚尾まちづくり推進委員会委員長 奥田雪雄
- 清澤 聡之君 10月15日～16日てらまち前夜祭・てらまちウォーキング、盛大に開催されました。
鈴木きよみ様には大変お世話になりました。
- 服部 弘史君 本日の講師、田中ふみえ様を御紹介致します。田中先生、よろしくお願ひ致します。
- 大竹 密貴君 10月16日(日)大浜てらまちウォーキングが開催されました。黒田昌司さん、平岩統一郎さん、鈴木並生さんをはじめ、RCメンバーの方々には大変お世話になりました。おかげさまで無事に実行委員長の務めを果たすことができました。心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。
- 杉浦 保子君 先回、モーターボートに乗りました。たったひとこと、すごい！！
- 平松 則行君 前回の職場例会、無事終了しました。親睦委員会様ご協力ありがとうございました。ペアボート乗船者の皆様は大変貴重な体験だったと思います。

卓 話

「永遠の光～碧南ロータリークラブ物語～」

語りべふみの会 代表 田中ふみえ様



田中ふみえ様

皆様、こんにちは。また今年もこうして皆様にお目にかかれて、とても嬉しく光栄に存じます。語りべふみの会を主催しております田中ふみえと申します。私の祖母が棚尾の生まれでございまして、小笠原という姓でございまして。何か今日ここにおりますのも、ご縁があるのかなと思っております。また、私は大浜地区のあるお寺様で語りの教室を開かせて頂いております。今日ご紹介頂きました服部社長のお母様が私の生徒になってくださっておりまして、先日初めての舞台に立ちました。かぐや姫を語ってくれましたけども、このような様々なご縁を頂きまして、今日私ここに立たせて頂いているなど感じます。

今回、この碧南 RC の物語をこの日のために書き上げさせて頂きました。私の仕事というのはこのような形で1つ依頼がございまして、人とお会いしたり、私なりに文献を調べたりして、その出来事だけを追うのは専門家ができますので、そうではないそこに生きた人たちの想いや祈りを肌で感じながら脚本を書き上げます。ですので、語るだけが仕事ではなくて、

ここに至るまでが本当の仕事だなと思う訳でございます。

碧南 RC の歴史を紐解きますと、驚いたことに戦後の碧南の歴史がそのまま詰まっているようなものだなということを感じました。戦争で焼け野原になってしまったこの日本という国が新しい風の中で立ち上がっていく、そこにこの碧南 RC というものがどれだけ光になったことだろうと私は感激致しました。そこで今回の物語のタイトルを「永遠の光」と付けさせて頂いた訳でございます。光といってもすぐに消える光ではなく、過去から今、そして未来へとずっと照らし続ける光でございます。ですから、最初にその光をおこした方はさぞ大変だっただろうと思います。やはり最初におこす方は偉大でございます。そこには崇高な理念がなければ、こんなに長い間続いていく訳がございません。先ほどからここに座らせて頂いて何だか背筋が伸びると言うのでしょうか、他の場所とは違う凛とした空気をずっと感じておりました。こんな素晴らしい紳士の皆様がたくさんここには集っていらっしゃるのだなと思い、ここにもおそらく伝統というものが脈々と受け継がれているからでございます。そうしたものもひしひしと感じながら、今日はこの物語を語らせて頂きたいと思います。至らない所は多々あるかと思いますが、どうかそこはご容赦頂きまして、耳をお傾け頂ければと思います。それでは物語をお楽しみくださいませ。

ありがとうございました。今日の日のために書き上げた台本ではございますが、色々と違っている所もあったかもしれません。そちらの方はどうかご容赦頂きたいと思います。

素晴らしいひとときを頂戴しましたことに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

次回例会案内

平成28年11月9日（水）

卓話「危機に学ぶ」

あいおいニッセイ同和損害保険株 特別顧問 鈴木 武氏